



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE横浜2022年版v.1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	メイクスアート横浜関内	階数	地上11F
建設地	横浜市中区曙町二丁目27番2, 4, 5	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 竣工	評価の実施日	2023年4月11日
敷地面積	404㎡	作成者	海老原智子
建築面積	277㎡	確認日	2023年4月17日
延床面積	2,581㎡	確認者	小林 満



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 92%  
③上記+②以外の 92%  
④上記+ 92%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.5

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
本建物は、関内駅よりほど近い国道16号線に面する商業地域内に計画された集合住宅である。賑わいのある街並みの中で潤いのある景観形成と、室内音環境、空気質環境に配慮した計画をおこなう。	特になし	
<b>Q1 室内環境</b> ・遮音性能の高いサッシを採用し、室内の音環境に配慮した内装計画を行う ・建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆を全面的に採用し、室内空気質の健全化に配慮する	<b>Q2 サービス性能</b> ・耐用年数の長い配管材料を採用し、配管材の長寿命化に配慮する	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> ・敷地内に中高木をバランス良く植栽し街並みに配慮したファサードを創出すると共に、敷地内の温熱環境にも配慮する
<b>LR1 エネルギー</b> ・LED照明を採用し、省エネルギーへの配慮する	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・汚染物質含有材料の使用を回避するよう配慮する	<b>LR3 敷地外環境</b> ・広告物照明は行わず、過剰な照明計画を回避する

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい



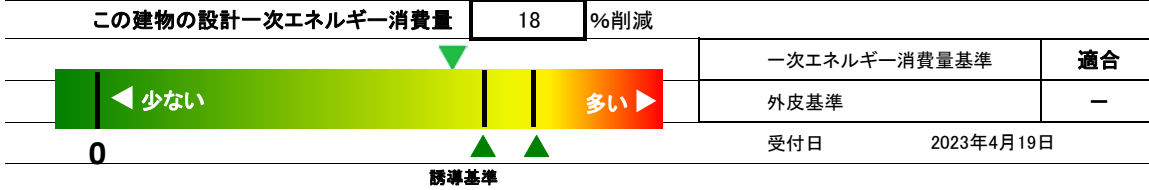
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **メイクスWアート横浜関内**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **4**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

建物全体の一次エネルギー消費量を抑制(LEDの使用や人感センサーでの制御等) BEI=0.82

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **3**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
エネルギーマネジメントシステム導入	



CASBEE横浜2022年版v.1.1  
メクスワート横浜関内

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>										<b>2.7</b>
<b>1 音環境</b>				<b>2.0</b>	0.15	<b>3.5</b>	1.00			<b>3.1</b>
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1.2 遮音				<b>1.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.50			-
1 開口部遮音性能				1.0	1.00	5.0	0.30			-
2 界壁遮音性能				1.0	-	3.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				1.0	-	4.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				1.0	-	4.0	0.20			-
1.3 吸音				<b>1.0</b>	-	<b>1.0</b>	-			-
<b>2 温熱環境</b>				<b>1.6</b>	0.35	<b>2.1</b>	1.00			<b>2.0</b>
2.1 室温制御				<b>2.2</b>	0.50	<b>3.3</b>	0.50			-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	3.0	0.63			-
2 外皮性能		快適・働きやすさ	健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.38	4.0	0.38			-
3 ソーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	-	-	-			-
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			-
2.3 空調方式				<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.30			-
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.3</b>	0.25	<b>2.8</b>	1.00			<b>2.7</b>
3.1 昼光利用				<b>1.8</b>	0.30	<b>2.4</b>	0.30			-
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	0.60	3.0	0.50			-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	1.0	0.30			-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策				<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	1.00	3.0	1.00			-
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15			-
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25			-
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.6</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00			<b>3.4</b>
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63			-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.40	<b>2.3</b>	0.38			-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	1.0	-	1.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				-	-	-	-			-
1 CO <sub>2</sub> の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	1.0	-	-	-			-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	1.0	-	-	-			-
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-			<b>2.7</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>2.6</b>	1.00			<b>2.6</b>
1.1 機能性・使いやすさ				-	-	<b>3.0</b>	0.60			-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	-	1.0	-			-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	-	3.0	1.00			-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
1.2 心理性・快適性				<b>3.0</b>	0.50	<b>2.0</b>	0.40			-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	-	3.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	-	-	-			-
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.50	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.9</b>	0.30	-	-			<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震				<b>3.0</b>	0.50	-	-			-
1 耐震性		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>2.9</b>	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				<b>3.0</b>	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
<b>3 対応性・更新性</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>2.5</b>	1.00			<b>2.6</b>
3.1 空間のゆとり				-	-	<b>2.0</b>	0.50			-
1 階高のゆとり				1.0	-	2.0	0.60			-
2 空間の形状・自由さ				1.0	-	2.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				<b>2.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.50			-
3.3 設備の更新性				<b>3.0</b>	1.00	-	-			-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.1

メイクスWアート横浜関内

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	<b>0.30</b>	-	-			<b>2.5</b>
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり		2.0	0.30	-	-			2.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり		3.0	0.40	-	-			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり		2.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ		3.0	0.50	-	-			-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-			<b>3.4</b>
<b>LR1 エネルギー</b>				-	<b>0.40</b>	-	-			<b>4.2</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能		4.0	0.20	-	-			4.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能		2.0	0.10	-	-			2.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能		5.0	0.50	-	-			5.0
4 効率的運用				3.5	0.20	-	-			3.5
集合住宅以外の評価				-	-	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能		3.0	-	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能		1.0	-	-	-			-
集合住宅の評価				3.5	1.00	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能		3.0	0.50	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能		4.0	0.50	-	-			-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	<b>0.30</b>	-	-			<b>2.7</b>
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-			3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60	-	-			2.4
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.22	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-			3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-			-
1 消火剤				-	-	-	-			-
2 発泡剤(断熱材等)				4.0	0.50	-	-			-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-			-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.1</b>
1 地球温暖化への配慮				3.3	0.33	-	-			3.3
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	-			2.9
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.6	0.25	-	-			-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.33	-	-			-
2 汚水処理負荷抑制				-	-	-	-			-
3 交通負荷抑制				3.0	0.33	-	-			-
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.33	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-			3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1 騒音				3.0	1.00	-	-			-
2 振動				-	-	-	-			-
3 悪臭				-	-	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-			-
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-			-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-			-
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-			-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				4.0	0.70	-	-			-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-
<b>上記以外の重点項目</b>				-	-	-	-			-
<b>&lt;事務用途&gt;</b>				-	-	-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ		-	-	-	-			-
				-	-	-	-			-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>				-	-	-	-			-
<b>健康と安心</b>				-	-	-	-			-
1 化学汚染物質の対策		健康・安心		3.0	-	-	-			-
2 適切な換気計画		健康・安心		3.0	-	-	-			-
3 結露・カビ対策		健康・安心		3.0	-	-	-			-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心		4.0	-	-	-			-